






# 商工労働部 成果報告

商工労働部長 寺井道博

## 部局達成度

				
6	4	-	5	9
4	-	-	1	8

(うち観光文化局分)

## 総括

商業の振興では、市内事業者の商圈維持・拡大のため、オールフクイLINE@を活用した共同販促企画等を行うとともに、本市独自の消費喚起策「ふくい元気買い福（回復）キャンペーン」を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者を支援しました。

企業立地の推進では、県外企業に対して本市の支援制度や強みをPRし、東京に拠点を置く企業のオフィス開設につなげました。

中小事業者等への支援では、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の中小事業者の連携を促し、新事業の創出や販路開拓を支援したほか、地域産業の活力を高めるための創業や事業承継の推進に取り組みました。

企業の労働力の確保を図るため、学生や社会人等を対象に、福井で働く魅力を仕事と生活環境の両面から発信し、地元企業へのU・Iターン就職を促進しました。また、若者や女性等、誰もが働きやすい職場環境の整備に取り組む企業への支援を行いました。

公営競技事業は、コロナ禍においても来場者及び選手、関係者に対する感染症感染防止対策の徹底により事業を継続し、一般会計への繰出金1億5千万円を確保できました。

観光振興については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、観光関連事業者への支援のほか、効果的に観光誘客につながる施策を講じ、観光需要の早期回復に努めました。

北陸新幹線福井開業に向けては、本市に来訪される方に福井の日々の暮らしの中にあふれる「福」を感じていただけるよう、地域資源を活かした体験交流型メニューの提供やおもてなしの機運の醸成、新たに開設した広域観光ポータルサイトを活用した観光情報の発信を行いました。

また、新たな魅力を創出するため、写真映えする「粋福（ふくいっぷく）」メニューの提供や、本市ゆかりのライトノベル「千歳くんはラムネ瓶のなか」のコラボイベント、ライトアップやデジタルアート投影による夜間景観の創出等にも取り組みました。

福井市文化協会が主催する福井市民文化祭などへの支援のほか、新たに「ふくいバーチャル文化芸術祭」を開催し、文化芸術活動を推進しました。

各文化施設では、特別展や企画展、関連イベント等を多数実施し、魅力向上を図るとともに、施設の改修やWi-Fi整備など、旅行者等を受け入れる環境整備にも取り組みました。

今後もコロナ感染症により疲弊した地域経済を立て直すための対策を迅速かつ的確に実施するとともに、北陸新幹線福井開業後の新たな人の流れを見据えた観光誘客や県外でのプロモーション、まちなかの賑わい創出など、効果的な施策に取り組んでいきます。

## 組織目標ごとの達成状況

### I. 中小企業者や創業者への支援及び企業立地の推進を図り、地域の商工業を振興します

商業の振興では、市内商業者の商圈維持・拡大のため、オールフクイLINE@を活用した共同販促企画等を行いました。会員数は目標に届きませんでした。10月から実施した消費喚起策「ふくい元気買い福（回復）キャンペーン」では、2千を超える店舗の参加が得られ、新型コロナの影響に苦しむ市内商業者を支援することができました。来年度もこれらの取組を継続し商業振興につなげていきます。

企業立地の推進では、県外企業に対してサテライトオフィス立地助成金をはじめとする本市の支援制度や強みをPRした結果、東京に拠点を置く企業がオフィスを開設しましたが、目標には届きませんでした。来年度も、新型コロナの感染状況を見極めながら、企業訪問等により本市のPRに努めるなど、福井市企業立地戦略に基づき、企業立地を進めていきます。

中小企業者や創業者への支援については、コロナ禍で新たな取組が困難な経営環境の中、新技術、新製品の開発に関しては目標に達しませんでした。その他、生産性の向上に資する設備投資、繊維関連事業者の国内外での販路開拓、市内での創業者数、事業承継相談件数、ふくいの恵み認定商品販売額は目標を達成することができました。来年度は、ポストコロナを見据え、創業や事業承継により本市の産業基盤を強固にするとともに、DXによるビジネスモデルの変革等に対応する新たな取組を進めるほか、北陸新幹線福井開業に向けた首都圏での物産展やオンライン物産展を開催するなど、さらに取組を強化します。

### II. 中心市街地における商機能等を充実し、賑わいの創出を図ります

中心市街地では、再開発工事の本格化とコロナ禍が重なり、厳しい商業環境が続いています。民間主体の賑わいづくりについては、新型コロナの影響によりイベントの自粛傾向がみられる中、まちなかイベントプラットフォームでは、イベント実施後のフォローアップ相談を行い、継続的なプレイヤーの育成につなげることができました。来年度は、イベント実施例の紹介や初心者向けのセミナーの開催により相談者を増やすことで、新たなプレイヤーの創出を図ります。公共空間の活用については、まちなか活性化交流イベント事業補助金の周知等により活用を促すと同時に、まちづくり福井株式会社が行う公共空間活用と連携し、来街者の回遊性向上につなげます。

中心市街地のまちづくりについては、リノベーションによるサテライトオフィス開設を支援したことより、目標を達成することができました。また、オンライン座談会を開催し、福井での活動に興味を持つ首都圏在住者と福井で活動する移住者の交流により、福井のまちの課題や魅力を共有することで、多くの都市人材に対し福井で活動するきっかけづくりができました。来年度も取組を進め、エリアの魅力向上につなげていきます。

### Ⅲ. U・Iターン就職の促進や就労機会の創出を図るとともに、誰もが活躍できる職場環境づくりを推進します

福井で働く魅力を仕事と生活環境の両面から発信することで、U・Iターン就職を促進しました。コロナ禍の中、地方への移住が進み、就職者数は目標を大きく上回ることができました。今後も、各種事業内容の充実を図り、U・Iターン就職の更なる促進に取り組みます。

就労機会の創出については、就職支援のための相談会やセミナー、ハローワークと連携した面接会を実施し、雇用定着を図るための奨励金の交付を行いました。また、今年度は、新規事業として、再就職を希望する子育て中の女性を対象とした就職面接会を開催し、これらの取組みの結果、若者や女性などの就職者数は目標を達成しました。

働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）の推進では、仕事と育児・介護の両立を促すための奨励金交付のほかハラスメント対策セミナーなどを開催した結果、目標を達成しました。引き続き、働きやすい職場環境の整備の重要性について周知・啓発していきます。

### Ⅳ. 公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

コロナ禍において、来場者及び選手、関係者に対する新型コロナウイルス感染症感染防止対策の徹底により、競輪事業を継続し、一般会計への繰出金1億5千万円を確保することができました。

令和3年度の車券売上収入は191億8,653万円で、前年度と比較すると21.4%上回りました。

車券売上収入増加の要因として、電話・インターネット投票の売上が伸びたこと。また、関東や南関東の競輪場に対する臨時場外車券売場設置にかかる要請活動の成果も、要因の一つと捉えています。

今後も電話・インターネット投票利用者向けの情報提供を拡充するとともに、競輪場施設の利便性の向上による新たな顧客の獲得に向けた取り組みにより、安定した収益の確保に努めます。

## <観光文化局担当>

### V. (I) 食や自然・歴史など福井らしさで観光客を増やします

団体旅行から個人旅行、モノ消費からコト消費など変化する観光ニーズに対応するため、周辺市町を含む幅広い地域資源を活かした体験交流型観光メニューの造成や磨き上げを行いました。

戦国期の城下町跡がそのまま残る一乗谷朝倉氏遺跡を活かして、誘客イベントや体験プログラムなど幅広い層をターゲットとした観光メニューを提供したほか、大本山永平寺など周辺の観光スポットとの連携による周遊プランの提供等により、周遊・滞在型観光を推進しました。

まちなかにおいては、デジタルアートやライトアップによる夜間景観の創出や、夜間イベントの開催、お得なチケットによる「食べ歩き」プランの提供等により、宿泊滞在を促進しました。

越前海岸では、豊かな自然や食を活かした多様な体験プログラムを提供するとともに、隣接する自治体とも連携して、福井が誇る「越前ガニ」や「水仙畑」をPRしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光行動が制限され、また、誘客イベント中止の影響もあって、観光客入込数や宿泊客数、観光消費額、コンベンション開催数といった目標が達成できませんでした。

北陸新幹線福井開業に向け、来年度も引き続き、福井らしさを活かした観光の魅力づくりに取り組むとともに、秋に開館する「県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館」のほか、「福井を舞台とする小説や映画」、「ふくい桜マラソン」等の新たな観光コンテンツも活かし、観光誘客を促進します。

### VI. (II) 福井の魅力を磨き、市民や観光客が福井の魅力にふれる機会を増やします

北陸新幹線福井開業に向け、「観光立国タウンミーティング」を開催し地域が一体となった観光地づくりに対する機運を高めるとともに、おもてなし講習会やおもてなし大賞の表彰等による「観光おもてなし市民運動」を推進しました。

また、地域や事業者に対しておもてなしのマインドを伝える、おもてなしの達人として、新たに「観光おもてなしスーパーマイスター」を認定しました。

今後は、さらに県や県観光連盟との連携も強化し、様々な機会を通しておもてなし力の向上を図ることで、オール福井での「おもてなし」の実現につなげます。

### VII. (III) 様々なツールによる情報発信を行い、福井の知名度やイメージの向上に努めます

北陸新幹線福井開業に向け、新たに運用を開始した「ふくい連携中枢都市圏ポータルサイト」を活用し、圏域内の幅広い観光情報の発信を行いました。

また、SNS映えする食やスポットの創出やフォトコンテストの実施により、SNSを通じた本市の魅力発信を行うとともに、観光SNSのフォロワー増加につなげました。

今後さらに、ターゲットを絞ったウェブ広告など効果的な宣伝広告も実施し、本市の魅力の発信と認知度の向上につなげます。

#### VIII. (IV) 外国人を含む誰もが住みたくなる多様性のある豊かなまちを目指すとともに、海外からも訪れたい福井を目指します

新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航を伴う海外姉妹友好都市交流ができないことに加え、市内イベントであるグローバルフェスタをオンライン開催に切り替えた結果、「国際交流事業等への市民の参加者数」については、目標が達成できませんでした。

来年度は、感染症の状況も踏まえつつ、延期となっている海外姉妹友好都市との交流事業の再開に向けて準備を進めるとともに、国際文化交流大使（FCA）の地域活動も通じて、市民の国際理解を深めます。

また、グローバルフェスタについても感染症対策を講じるなど実施方法を工夫し、多くの市民参加をいただくことで、国際化や多文化共生社会を推進します。

#### IX. (V) 文化芸術活動を支援するとともに、文化や歴史、自然を観光誘客に活用します

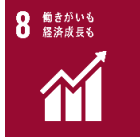

福井市民文化祭の参加者数は、新型コロナウイルスの影響等により、目標を達成することができませんでした。新たにウェブ上で開催した「ふくいバーチャル文化芸術祭」には、想定を大幅に上回る応募・閲覧がありました。来年度は、「ふくいバーチャル文化芸術祭」に併せて動画作成講座を開催することで、文化芸術活動の活性化を図ります。

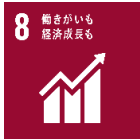

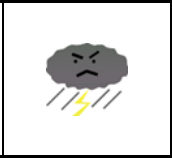


養浩館庭園や愛宕坂茶道美術館などの文化施設では、新型コロナウイルスの影響により入場者数が減少し、目標を達成することができませんでした。来年度は、冬季イベントや各施設間の連携イベント等を開催し、入場数の増加を図ります。




観光と文化の連携強化として、ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業では、文化資源を活用したパンフレット等の作成や、パネル展（合同出張ミュージアム）の開催に取り組みました。また、日本遺産活性化推進事業では、シンポジウムを開催し、「石がたり」の魅力を発信しました。来年度も、引き続き他の市町と連携し、観光誘客と交流人口の増加を目指します。

他の施設においても、特別展や企画展、関連イベントを多数実施し、特に自然史博物館本館では、市内で捕獲した王冠カブトムシや双頭トカゲの生体展示ができたこともあり、年間入場者は昨年度の2倍、過去9年間で最多入場者数となりました。

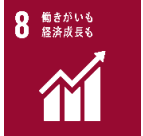

# I. 中小企業者や創業者への支援及び企業立地の推進を図り、地域の商工業を振興します




1	<b>商業の振興</b>		達成度 
<b>実 行 内 容</b>			
<b>行動目標</b>	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食業や宿泊業を中心に落ち込んだ消費は、いまだ低迷したままとなっています。商業活動にかつてない悪影響が続くなか、市内商工業者、関係機関等との連携やオールフクイなど幅広い商業者団体の活動を強化し、迅速かつ積極的に消費喚起を図ることで、市内商業の活性化につなげます。		
<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オールフクイLINE@会員対象抽選キャンペーン及び「オールフクイの日」クーポンの配信                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日に抽選で1万円相当の商品券等が3名様に当たるキャンペーンを、LINE@会員向けに配信</li> <li>・毎月15日に加盟する各商業施設で利用できるクーポンを、LINE@会員向けに配信</li> </ul> </li> <li>○市文化施設との連携事業の実施                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象施設：美術館、郷土歴史博物館、自然史博物館、橘曙覧記念文学館、愛宕坂茶道美術館</li> <li>・オールフクイLINE@会員に各文化施設の特別展・企画展の入場料割引クーポンを配信</li> </ul> </li> <li>○オールフクイ加盟施設等の集客促進企画の実施                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・GW期間中の共同販促企画「オールフクイ感謝祭」の実施（4/29～5/5）</li> <li>・ふくい元気買い福（回復）キャンペーン連携企画「オールフクイ×ふくふく割キャンペーン」の実施（10/15～12/31）</li> <li>・年度末の共同販促企画「オールフクイ春のお年玉」（3/12、3/19）及び「クリーンエコ活動」の実施（3/13、3/20）</li> </ul> </li> <li>○（一社）福井市商店街連合会による商店街ツアーの開催                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の魅力的な店舗を見学・体験するツアーを実施（10/28、11/4、11/11）</li> </ul> </li> <li>○福井市独自のデジタルクーポン発行による消費喚起（「ふくい元気買い福（回復）キャンペーン」）                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県が運営するデジタルバウチャー「ふく割」を活用し、市内の小規模店や飲食店で使用できる割引クーポンを発行することで、新型コロナ感染拡大の影響を受ける事業者を支援</li> </ul> </li> </ul>		
<b>指 標</b>			
<b>計 画</b>		<b>結 果・成 果</b>	
オールフクイLINE@会員登録数（累計）： 7,969人（元年度）→8,815人（2年度） →10,000人（3年度）		オールフクイLINE@会員登録数（累計）： : 9,739人	
<b>成果・課題</b>	オールフクイLINE@会員登録数は、年間で924人増の9,739人となっており、目標の10,000人には届きませんでした。近い水準まで増やすことができました。また、オールフクイに加盟している各商業施設のLINE@登録者数は合計で70,000人近くいるなど、コロナ禍で厳しい環境のなか、商業の活性化に寄与しています。 10月から2月にかけて実施した本市の消費喚起策「ふくい元気買い福（回復）キャンペーン」では、2千を超える店舗に参加いただき、約14億円の消費につながるなど、新型コロナの影響に苦しむ市内商業者を支援することができました。来年度についても同キャンペーンを継続し、新型コロナの感染状況に応じた事業を展開することで、市内商業者を支援していきます。		

2	<b>企業立地の推進</b>			<b>達成度</b>	
<b>実行内容</b>					
<b>行動目標</b>	<p>本市産業の発展を図るため、福井市企業立地戦略（平成 27 年度～令和 3 年度）に基づき、基幹産業、成長産業、物流関連産業、サテライトオフィスなどの立地を推進します。</p> <p>首都圏に立地する企業に対して、東京事務所と連携して企業訪問を行うほか、関西・中京圏に立地する企業に対しても本市の強みや支援制度を PR し、立地を働きかけます。</p> <p>また、福井市企業立地戦略（平成 27 年度～令和 3 年度）の計画期間が今年度で終了するため、社会経済の動向や人口減少等の課題に対応するよう改定します。</p>				
<b>取組内容</b>	<p>○企業立地支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業に対する支援制度の情報発信</li> <li>・企業立地助成金等の活用に向けた企業との協議及び企業立地支援指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>*企業立地支援指定数：8 件</li> </ul> </li> <li>・空き工場、空きオフィス登録に向けた不動産会社等との協議、調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>*空き工場新規登録：2 件</li> </ul> </li> <li>・サテライトオフィス立地助成金制度の創設（6 月）</li> <li>・空き工場、空きオフィス登録の促進や土地情報の収集と企業への情報発信</li> <li>・サテライトオフィス開設に向けた空きビル改修費等への支援：1 件（順化 1 丁目）</li> <li>・福井市企業立地戦略の改定（3 月）</li> </ul> <p>○企業訪問等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問による情報交換や立地意向の把握</li> <li>・「企業立地フェア」（5 月、パシフィコ横浜）への出展</li> <li>・立地意向アンケート調査（6 月）：500 社（対象業種：ICT 関連）</li> <li>・立地意向アンケート調査の結果に基づく企業への情報提供と関係強化</li> <li>・「北陸技術交流テクノフェア 2021」（10 月）での支援制度の周知</li> <li>・「福井県企業立地・港セミナー in 名古屋」（11 月）での支援制度の周知・本市の PR</li> <li>・「福井県企業立地オンラインセミナー」（3 月）での支援制度の周知・本市の PR</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
 総 84 戦 市外からの企業誘致数：2 件			 総 84 戦 市外からの企業誘致数：1 件		
<b>成果・課題</b>	<p>県外企業に対してサテライトオフィス立地助成金をはじめとする本市の支援制度や「三大都市圏へのアクセス良好」といった強みを PR した結果、東京に拠点を置く IT 企業が中心市街地にオフィスを開設しましたが、目標を達成することはできませんでした。</p> <p>企業を誘致するには、本市の優れた支援制度や強みを企業に知ってもらう必要があります。本年 3 月に改定した企業立地戦略に基づき、本社機能施設やサテライトオフィスの誘致を進めるため、新型コロナの感染拡大状況を見極めながら、企業訪問等により本市の PR に努めます。</p>				

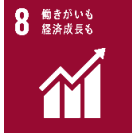


3	高付加価値のものづくり・販路開拓の支援			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>中小企業者の慢性的な人手不足の解消や生産性の向上を図るため、設備投資の促進を行います。また、新たな価値の創出のため、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の中小企業者の連携を促し、新製品開発や新事業創出の支援を行います。</p> <p>さらに、テキスタイルノベーションプロジェクトを展開し、繊維事業者のECプラットフォームを活用した販路開拓を支援します。</p>				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生産性向上に資する設備投資への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上に資する設備投資等に関する導入計画の受付、認定</li> </ul> </li> <li>○新技術、新製品の開発に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新事業創出支援補助金 (募集期間：4/12～6/4、審査会：7/2、交付決定：2件、中間報告：11/19、年度末報告：3/18)</li> <li>・SDGs 実現に向けた高付加価値繊維新製品・新技術開発支援補助金 (交付決定：5/6、1件)</li> </ul> </li> <li>○繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リアル展示会の開催による販路開拓、マッチング支援 (6/8～10、11/3～16、11/9～11)</li> <li>・ECプラットフォームの登録事業者募集 (5社追加)</li> </ul> </li> </ul>			
<b>指標</b>					
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>			
<p>⑧82 生産性向上に資する設備投資への支援： 98件(元年度)→71件(2年度)→75件(3年度)</p> <p>⑧83 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 新技術、新製品の開発に対する支援件数 (累計)：7件(元年度)→10件(2年度) →14件(3年度)</p> <p>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る商談成立件数：0件(2年度)→8件(3年度)</p>		<p>⑧82 生産性向上に資する設備投資への支援：93件</p> <p>⑧83 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 新技術、新製品の開発に対する支援件数 (累計)：13件</p> <p>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る商談成立件数：20件</p>			
成果・課題	<p>生産性の向上に資する設備投資への支援については、継続して周知・促進した結果、目標数を達成することができました。来年度も継続して固定資産税の軽減措置等の具体的支援策の周知を図り、積極的な設備投資を働きかけていきます。</p> <p>新技術、新製品の開発に関しては、コロナ禍で開発の取組が進まない中、目標に達しませんでした。金融機関や商工会議所等との情報共有の強化、事業のさらなる周知に努め、地域産業の活性化に寄与する新技術、新製品の開発を支援していきます。</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓については、ECプラットフォームのマッチング機能の強化や登録事業者の増加により、目標を達成することができました。引き続き、プラットフォームの充実に努めるとともに、海外へのPRやマッチング支援等を行い、さらに商談成立が増えるよう支援していきます。</p>				






4	起業者創出の促進		達成度					
<b>実 行 内 容</b>								
行動目標	<p>本市産業の活力を高めるため、創業支援等事業者や、金融機関など関係機関との連携を強化し、創業者に対する支援の充実に努めます。</p> <p>また、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内商工団体等との連携を図り、圏域内における事業承継への支援を強化するとともに、各種支援制度等について迅速な情報収集・発信を行うなど、市内中小企業の経営安定に向けた金融・経営支援の充実に努めます。</p>							
取組内容	<p>○市内での創業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱意ある創業支援事業補助金 採択 2 件（事業承継部門、移住・定住部門）</li> <li>・創業支援資金 利用 7 件</li> <li>・創業支援等事業計画に基づく創業者数 102 人 （熱意ある創業支援事業補助金、創業支援資金[市]、ワンストップ相談窓口、開業セミナー[商工会議所]、創業ハンズオン支援[アントレセンター]など）</li> </ul> <p>○ビジネスプランコンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラン募集（6/22～10/31） 学生の部：132 件、一般の部：44 件</li> <li>・ビジコンミーティング（プラン作成講座）全 4 回 最終選考会（1/29）</li> </ul> <p>○女性視点の起業と事業承継を考えるオンラインセミナー（2/10） 参加者 102 名</p> <p>○「ふくい嶺北連携中枢都市圏事業承継推進プロジェクト」の発足（7/29）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談会の開催（10 月） 相談 9 件</li> <li>・窓口相談 2 件</li> </ul> <p>○事業承継オンライン研修会の開催（9/22、10/13、10/27） 参加者 144 名</p>							
<b>指 標</b>								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">計 画</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">結 果・成 果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>⑧5⑧市内での創業者数：96 人（元年度） →87 人（2 年度）→90 人（3 年度）</p> <p>⑧6⑧事業承継相談件数：8 件（元年度） →2 件（2 年度）→5 件（3 年度）</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>⑧5⑧市内での創業者数：102 人</p> <p>⑧6⑧事業承継相談件数：11 件</p> </td> </tr> </tbody> </table>					計 画	結 果・成 果	<p>⑧5⑧市内での創業者数：96 人（元年度） →87 人（2 年度）→90 人（3 年度）</p> <p>⑧6⑧事業承継相談件数：8 件（元年度） →2 件（2 年度）→5 件（3 年度）</p>	<p>⑧5⑧市内での創業者数：102 人</p> <p>⑧6⑧事業承継相談件数：11 件</p>
計 画	結 果・成 果							
<p>⑧5⑧市内での創業者数：96 人（元年度） →87 人（2 年度）→90 人（3 年度）</p> <p>⑧6⑧事業承継相談件数：8 件（元年度） →2 件（2 年度）→5 件（3 年度）</p>	<p>⑧5⑧市内での創業者数：102 人</p> <p>⑧6⑧事業承継相談件数：11 件</p>							
成果・課題	<p>市内での創業者数については、新型コロナの影響を受けながらも、目標を上回りました。来年度も、支援機関との更なる連携強化により、創業の促進を図ります。</p> <p>また、事業承継については、ふくい嶺北連携中枢都市圏域でのプロジェクト発足に伴い、個別相談会を開催し、目標を達成しました。来年度も、引き続き、県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携を図りながら、個別相談会等を通して、後継者不在の事業者を適切にサポートできるよう体制の充実に努めます。</p>							




5	農工商連携の推進			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>市内百貨店において「おいしいふくい大博覧会」を継続して開催し、「ふくいの恵み」認定商品を始め、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の特産品の認知度向上を図ります。</p> <p>また、東京事務所・農林水産部と連携した首都圏での物産展の実施など、北陸新幹線福井開業に向けた福井の食の普及、振興に取り組みます。</p>				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「おいしいふくい大博覧会」の開催 開催場所：西武福井店 6階催事場 開催期間：11/10～11/15 事業者数：40事業者（うち認定事業者20社）</li> <li>○ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の特産品を販売する物産展等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/1～6/7 福福館 市町PRコーナー</li> <li>・7/7～7/13 三越日本橋本店「福井市納涼フェア」</li> <li>・11/6～11/30 上野マルイ「福いいネ！フェア」</li> <li>・3/1～3/7 福福館 市町PRコーナー</li> </ul> </li> <li>○福いいネ！お土産品開発プロジェクト 北陸新幹線福井開業に向けた、市内事業者の「知識づくり」「商品開発」「販路拡大」を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/13～9/15 セミナー、ワークショップ（23事業者）</li> <li>・11/29 先行事例踏査（10事業者）</li> <li>・10月～2月 商品開発個別支援（4事業者）</li> <li>・3/7 商談会開催（20事業者）</li> </ul> </li> <li>○共立女子大学との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内油揚げ製造会社のレクチャーを経て、学生によるレシピ開発、市内スーパーへのレシピ配架</li> </ul> </li> </ul>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<b>戦</b> 「ふくいの恵み」認定商品販売額： 265,054千円（元年度）→348,590千円（2年度） → 380,000千円（3年度）			<b>戦</b> 「ふくいの恵み」認定商品販売額：467,749千円		
成果・課題	<p>「おいしいふくい大博覧会」は、これまで8回開催してきた実績を踏まえながら、来場者にとって魅力的な企画の実施やレイアウトの工夫により、コロナ禍においても市内の消費需要を取り込み、認定商品及び福井の食の普及・振興を着実に進めることができました。</p> <p>県外での販路拡大については、東京事務所、農林水産部等との連携し、日本橋三越本店及び上野マルイでの商品販売を行い、首都圏における販路拡大の足掛かりとすることができました。北陸新幹線福井開業に向け、来年度も継続して取り組んでいきます。</p> <p>福いいネ！お土産品開発プロジェクトでは、市内事業者の商品開発機運を醸成し、基礎知識の習得、商品開発、販路拡大を一貫して支援することにより、手に取ってもらえるお土産品づくりにつなげることができました。来年度は、開発したお土産品をはじめ、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の魅力的な特産品の一層の販路拡大に努めます。</p>				

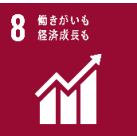


## II. 中心市街地における商機能等を充実し、賑わいの創出を図ります

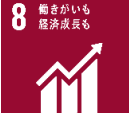


6	まちなかにおける民間主体の賑わいづくりの促進	 8 働きがいの経済成長	 11 住み続けられるまちづくりを	達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>まちなか全体の賑わいを高めるため、まちなかで活動する団体に対し、収益化、集客増のためのコンサルティングや、連携する団体や店舗との調整等の支援や広報環境整備を行うことで、新たなプレイヤーの育成及びイベント数の増加と定着を図ります。</p> <p>また、ハピリンや新栄テラスとの連携や、公園、河川敷等の公共空間の活用を強化することで、来街者の回遊性向上につなげます。</p>				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちなかイベントプラットフォームの設置           <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかでのイベント開催を希望するプレイヤーを支援する相談窓口を設置（支援件数：8件）</li> <li>・伴走支援内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画内容の相談、企画連携者の調整</li> <li>・集客や広報に関するアドバイス</li> <li>・スポンサー、協力者の獲得に向けたサポート</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○まちなか活性化交流イベント事業補助金           <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の賑わいづくりに寄与するイベント等を支援（利用件数：3件）</li> </ul> </li> <li>○公共空間の利活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、オープンテラスの場としてソライロテラスの活用を促進</li> </ul> </li> <li>○広報           <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用ホームページを設置し、相談・予約フォーム、質問集を掲載</li> <li>・「広報ふくい」の無料相談窓口に毎月掲載</li> <li>・SNS等により相談窓口の設置状況等を案内</li> </ul> </li> </ul>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
まちなかイベントプラットフォーム事業を活用したイベントの件数：5件（2年度）→10件（3年度）			まちなかイベントプラットフォーム事業を活用したイベントの件数：9件		
成果・課題	<p>新型コロナの影響によりイベントの自粛傾向が見られ、イベントの開催中止が相次ぎ、目標件数の達成には至りませんでした。</p>				
	<p>このような中ですが、まちなかイベントプラットフォームでは、イベント実施後のフォローアップ相談を行い、イベントの継続した実施を目指すプレイヤーの育成につなげることができました。</p> <p>来年度は、イベント実施例の紹介や初心者向けのセミナーの開催を行い、まちなかイベントプラットフォームへの相談・活用を増やすことで、より多くの方にイベント実施を促し、新たなプレイヤーの創出を図っていきます。</p> <p>公共空間の活用については、まちなか活性化交流イベント事業補助金の周知等により活用を促すとともに、ソライロテラスや足羽川AQUAテラスを運営するまちづくり福井株式会社と連携し、来街者の回遊性向上につなげていきます。</p>				

7	リノベーションによるまちづくりの推進	 8 福井が 経済成長	 11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>老朽化した遊休不動産を有効活用し、地域の価値向上を図るリノベーションによるまちづくりを推進するため、まちの担い手を発掘・育成するリノベーションまちづくり活動「ディスカバリー福井2021」を実施し、地域の魅力向上に資する出店につなげます。</p>				
	取組内容	<p>○事業実施希望者への個別相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京事務所と連携し、都市部在住で、福井でのまちづくりや起業に関心が高い事業実施希望者に、福井のまちへの関わりしろ（注）や、リノベーションまちづくりの可能性について紹介し、個別サポートを行った。 （相談件数：1件）</li> </ul> <p>（注）関わりしろ：地方創生や関係人口創出等で使われる言葉。将来のまちづくりなどを考える際の、大規模再開発事業ではなく、個人やグループレベルで解決可能な地域課題（自分から関われる余地がある部分）のこと。ここでは、都市圏在住者が福井のまちづくりに関われる余地をいう。</p> <p>○リノベーションによるサテライトオフィス開設支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年にディスカバリー福井で発掘した順化1丁目空きビルをリノベーションし、サテライトオフィスを開設する民間事業者に対し、支援した。（3/28開設）</li> </ul> <p>○都市人材を福井に誘導するオンライン座談会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井での活動に興味を持つ首都圏在住者と、福井で活動する移住者の交流により、福井を第二の拠点として選び、活動するきっかけにつなげる座談会「ディスカバリー福井 FUKUI 逆参勤交代ナイト@丸の内」を開催した。（2/17） （参加者数：121名）</li> </ul>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<p>⑦ まちなか地区におけるリノベーションの件数 （累計）：15件（元年度） →16件（2年度）→17件（3年度）</p>			<p>⑦ まちなか地区におけるリノベーションの件数 （累計）：17件</p>		
成果・課題	<p>まちなか地区において、リノベーションによるサテライトオフィス開設を支援し、目標の17件を達成しました。これにより、都市部から新たな人の流れが生まれ、周辺エリアのさらなる活性化が期待されます。</p> <p>今年度実施した、オンライン座談会「ディスカバリー福井 FUKUI 逆参勤交代ナイト@丸の内」では、福井のまちの課題や魅力を共有することで、多くの都市人材に対し福井で活動するきっかけづくりができました。</p> <p>この座談会が生み出した縁をもとに、来年度は、都市人材が福井のまちなかで課題解決を図る取組として、「福井市×逆参勤交代」を開催し、エリアの魅力向上につなげていきます。</p>				



### Ⅲ. U・Iターン就職の促進や就労機会の創出を図るとともに、誰もが活躍できる職場環境づくりを推進します

8	U・Iターン就職の促進			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>学生の本市での就職を支援するため、社会情勢の変化や学生のニーズを踏まえながら、ふくいU・Iターンサマーキャンプや企業訪問ツアーを開催します。さらに、学生の就職に大きく影響を与える保護者に対する相談会を開催します。</p> <p>また、県外在住の社会人を対象に、企業訪問や生活環境の紹介を組み合わせた就職支援ツアーを開催し、仕事と生活の両面から本市で働くことの魅力をアピールします。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学生に対するふくいU・Iターンサマーキャンプ（インターンシップ）の開催 開催日：8/30～9/3 就職者数：8人</li> <li>○県外大学生の保護者に対する就職サポート方法等に関する相談会の開催 開催日：7/31、9/11、11/20、2/12 就職者数：5人</li> <li>○社会人に対する企業訪問機会の提供及び移住に関する情報提供を行う就職支援ツアーの開催 開催数：3回 就職者数：2人</li> <li>○大学生に対する企業訪問ツアーの開催 開催日：2/7～8、2/17～18 就職者数：9人</li> <li>○「おしごとネット」による情報発信及び東京事務所との連携による移住支援メニューの周知広報 就職者数：90人</li> </ul> <p>※就職者数は、過去に該当事業の参加者のうち、今年度就職した者の数</p>				
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
<p>⑧87④ U・Iターン就職促進事業を利用して就職した学生及び社会人の数： 55人（元年度）→37人（2年度）→50人（3年度）</p>			<p>⑧87④ U・Iターン就職促進事業を利用して就職した学生及び社会人の数：114人</p>		
成果・課題	<p>大学生を対象に、企業訪問や経営者との座談会、U・Iターン者との意見交換会などを通じて、本市で働くことのメリットや地元企業の魅力を伝える「ふくいU・Iターンサマーキャンプ」、「企業訪問ツアー」を実施しました。参加者へのアンケートでは、9割が「福井での就職意識が高まった」と回答しており、「興味がなかった企業に興味を持った」「企業のイメージができた」などの声からも効果があったと考えます。</p> <p>社会人を対象に、希望に沿った企業への訪問に加え、家族が、学校、保育園などの教育や子育て環境を確認できる「週末就活」を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で県を跨ぐ移動の制限などで、例年より少ない開催数となりましたが、参加者のうち2名は就労に繋がりました。</p> <p>大学生の保護者を対象に、就活相談会を実施しました。参加した保護者から「親としてどうして良いか不安だったが、心強いアドバイスを受けられて良かった」との声をいただいています。</p> <p>これらの取組により、目標を達成することができました。</p> <p>今後も、コロナ禍での地方への移住の流れを好機と捉え、引き続き、事業の周知に努めるとともに、U・Iターン就職に繋げていきます。</p>				

9	就労機会の創出			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>働く意欲のある全ての人の雇用の促進と安定を図るため、障がい者やひとり親家庭の父母等を雇用した事業者に対し奨励金を支給するとともに、障がい者向け就職支援セミナーや子育てママのための就職面接会を開催します。さらに、高齢者の能力を活かすため、シニア向け就職相談会などに取り組みます。</p> <p>県内大学生などの若者に対しては、市内企業で働く意識を高めるため、福井の企業の持つ優れた技術や先進的な取組などを伝える事業を開催します。</p> <p>また、ふくいおしごとネットへの市内企業の登録を推進し、掲載情報の充実を図るとともに、各種就職支援情報の発信力を高めめます。</p>				
	取組内容	<p>○障がい者や母子家庭などの母等の、更なる雇用定着を図る奨励金支給 支給件数：24件</p> <p>○就職に関し悩みを抱える若者に対し就職相談会の開催 開催日：6/25、11/26、2/22 就職者数：2人</p> <p>○働きたい高齢者に対し就職相談会の開催 開催日：6/30、11/6、12/4、2/25 就職者数：43人</p> <p>○学生と市内企業との関わりを増やし就職へ繋げる「お仕事カフェ」の開催 開催日：9/15、11/12、2/15</p> <p>○就職に必要な書類の書き方や面接時のマナーなどが学べる障がい者向け就職支援セミナーの開催 開催日：9/27、9/28、9/30、10/15、10月上旬に各企業との面接会 就職者数：2人</p> <p>○一度に複数の企業と面接ができる子育てママのための就職面接会の開催 開催日：1/28、2/10 就職者数：7人</p> <p>○地元高校生に対し、将来のUターン就職を意識づけるワークショップ等の開催 開催日：12/26、12/27</p> <p>○中小企業雇用促進相談員による「ふくいおしごとネット」への登録促進 ※就職者数は、過去に該当事業の参加者のうち、今年度就職した者の数</p>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<p>⑧88④③②① 就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数：111人（元年度）→44人（2年度）→80人（3年度）</p> <p>④③②① お仕事カフェの開催： 3回（元年度）→2回（2年度）→2回（3年度）</p> <p>ふくいおしごとネットへの企業登録数： 816社（元年度）→830社（2年度）→850社（3年度）</p>			<p>⑧88④③②① 就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数：78人</p> <p>④③②① お仕事カフェの開催：3回</p> <p>ふくいおしごとネットへの企業登録数：862社</p>		
成果・課題	<p>働く意欲のある人の雇用促進と安定を図るため、若者のための就職相談会、シニア向け就職相談会に加え、今年度は再就職を希望する子育て中の女性を対象に就職面接会を新たに開催しました。就職面接会では、企業と上手くマッチングし就職に繋がった参加者もみられました。</p> <p>しかしながら、就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加者が減少したことから、目標を達成することができませんでした。</p> <p>お仕事カフェは、コロナ禍のためオンラインによる開催とし、目標を達成することができました。参加者からは「普段、関わることのない企業と関わる機会となった」などの声があり、目的とする企業との接点づくりの点で効果があったと考えます。</p> <p>ふくいおしごとネットの企業登録数は、中小企業雇用促進相談員が企業訪問をする際に、登録方法を分かりやすく記載したチラシを活用し、登録を呼びかけた結果、目標を達成することができました。今後も、各種の取組を通じ、就労の機会の創出に繋げていきます。</p>				

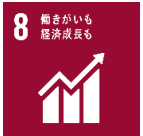

10	働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）の推進			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）の重要性や必要性について事業主の理解を深めるため、職場環境の改善を啓発するセミナーを開催するとともに、中小企業雇用促進相談員による企業訪問を実施します。</p> <p>また、働きやすい魅力ある職場環境の実現のため、育児や介護と仕事の両立などに取り組んだ中小企業に対し奨励金を支給します。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児応援企業養成奨励金 交付件数：2件</li> <li>○目指せ介護離職ゼロ推進奨励金 交付件数：0件</li> <li>○働き方改革関連制度の市ホームページ、おしごとネットへの掲載や中小企業雇用促進相談員の企業訪問を通じた周知</li> <li>○高齢者雇用推進セミナーの開催 開催日：10/13 参加企業数：31件</li> <li>○ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 開催日：10/14 参加企業数：31件</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<p>◎89◎働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）推進事業による支援企業の数：60件（元年度） →46件（2年度）→60件（3年度）</p>			<p>◎89◎働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）推進事業による支援企業の数：64件</p>		
成果・課題	<p>働き方改革の推進については、本市と地方創生に関する包括連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険(株)との共催による「ハラスメント対策」をテーマにしたセミナーの開催や、育児・介護と仕事の両立に取り組んだ市内中小企業への奨励金交付などにより目標を達成することができました。</p> <p>新年度は、企業のニーズを踏まえたより利用しやすい奨励金制度に見直すことで、奨励金事業の利用促進を図り、働き方改革への取組みを促していきます。</p>				




#### IV. 公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

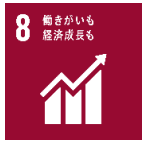





11	競輪事業の継続		
<b>実行内容</b>			
行動目標	<p>競輪事業は、社会の振興・発展や公益増進、地方財政健全化を目的としており、本市においても昭和25年の開設以来、一般会計への繰り出しを行い本市の振興と財政健全化に寄与してきたところであります。</p> <p>今後、本市の収益事業としての責務を果たすため、他競輪場における福井競輪の車券発売の拡充に向けた営業・要請活動に注力するとともに、新たな顧客を獲得することで収益を確保し安定的・継続的に事業を推進します。</p>		
取組内容	<p><b>【競輪開催事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症感染防止対策による有観客での開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>・競輪関係団体により策定された「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症対策要綱」、「福井県のイベント制限」を遵守</li> </ul> </li> <li>○本場開催：18開催55日（大垣競輪場借上げによるミッドナイト競輪は1日開催中止）             <ul style="list-style-type: none"> <li>GⅢ(4日制)2開催8日（6月：大阪・関西万博協賛競輪、7月：開設71周年記念競輪）</li> <li>FⅠ(3日制)6開催18日（4月：1開催、5月：1開催、8月：1開催、10月：2開催、11月：1開催）</li> <li>FⅡ(3日制)10開催29日（4月：2開催、5月：2開催、6月：1開催、10月：1開催、11月：1開催3月：3開催）</li> </ul> </li> <li>*うち大垣競輪場借上げによるミッドナイト競輪（4月：1開催、6月：1開催、3月2開催）</li> <li>○場外発売：559日</li> <li>○車券売上収入：191億8,653万円</li> <li>○福井競輪事業収益向上推進委員会及び専門官支援員会議の開催、要請活動の実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳：収益向上推進委員会（5月、10月、1月）、専門官支援員会議（4月）</li> <li>要請活動：平塚・静岡(11月)</li> </ul> </li> <li><b>【新規顧客獲得及びファンサービス等】</b></li> <li>○初心者ガイダンス（年56回）</li> <li>○電話・インターネット投票利用者に対するキャッシュバックキャンペーン（4～8月、10月、11月、3月）</li> <li>○ファンサービスの実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>マスク配布、スピードくじ、競輪カレンダーの配布、粗品プレゼント等</li> </ul> </li> </ul>		
<b>指 標</b>			
<b>計 画</b>		<b>結 果・成 果</b>	
一般会計への繰出金：0円（元年度） →170,000千円（2年度）→150,000千円（3年度）		一般会計への繰出し金：150,000千円	
成果・課題	<p>今年度は、昨年度以上に来場者及び選手、関係者に対する新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、有観客による競輪開催を継続することができました。</p> <p>車券売上収入は191億8,653万円となり、前年度の157億9,962万円と比較して21.4%増となりました。特に、「ミッドナイト競輪」と「FⅡ競輪」における電話・インターネット投票の車券売上が顕著であり、車券売上収入増加の大きな要因と捉えています。</p> <p>来年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、有観客による競輪開催の継続に努めるとともに、新たに「モーニング競輪」を開催し、更なる車券売上収入の増加と収益の確保につなげます。</p> <p>また、福井競輪事業収益向上推進委員会による関東・南関東の競輪場への臨時場外車券売場設置にかかる要請活動や新規顧客獲得に向けたイベント等に取り組みます。</p>		

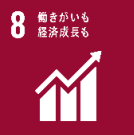




## V. (I) 食や自然・歴史など福井らしさで観光客を増やします

12	観光産業の振興		達成度 									
<b>実行内容</b>												
行動目標	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、効果的に観光誘客につながる施策を講じ、観光需要の早期回復を図ります。</p> <p>また、団体旅行から個人旅行、モノ消費からコト消費など変化する観光ニーズに対応するため、周辺市町を含む幅広い地域資源を活かした体験交流型観光メニューを提供することで滞在型観光を促進するとともに、夜間の消費拡大を図ります。</p> <p>インバウンドについては、コロナウイルス収束による回復期を見据え、外国人旅行者の受入環境の整備や、インターネットを活かした観光情報の発信に取り組みます。</p>											
	<p>○ふくい酒蔵ある記キャンペーン（4～2月）応募者 56人</p> <p>○ハピテラス、中央公園デジタルアート投影（4月～3月）</p> <p>・イベント連携：アイススケート（12/24～2/6）、Digital Night Electrical Stage（3/20）</p> <p>○旅の体験手帳「ふくのね」 vol.6 発行（6月）（34件）、vol.7 発行（3月）（33件）</p> <p>・利用促進キャンペーン（「じゃらん」掲載期間 8/1～12/31）</p> <p>○写真映えメニュー「粋福（ふくいっふく）」 第1弾（6月1日～）、第2弾（10月1日～）</p> <p>・スタンプラリー（12/14～2/23）応募者 169人</p> <p>○マイクロツーリズム促進事業（10～2月）利用者 7,578人</p> <p>○コンベンション開催補助（2回）（11月）（整形外科関係学会、農業関係学会）</p> <p>○夜間観光促進事業「福いいネ！ナイトキャンペーン」（12～2月）</p> <p style="padding-left: 40px;">応募者 409人、宿泊・食事・地酒・Bar など 89店舗参加</p> <p>○市内宿泊促進事業（1～2月）利用者 779人</p> <p>○インバウンド向けオンライン観光商談会（3回）（5/19 タイ、11/11 欧州、2/14 台湾）</p> <p>○インバウンド受入環境支援事業 3事業者へ補助（キャッシュレス決済1件、パンフレット2件）</p> <p>○自治体国際化協会、J N T O（日本政府観光局）連携・海外向け観光情報発信（8回）</p> <p>・美術史フェスティバル（6/4～6 パリ）、ハイパージャパン（7/9～8/8 ロンドン）等</p> <p>○SNSによる海外向け情報発信（随時）（英語、日本語、フランス語、中国語）</p>											
取組内容	<b>指 標</b>											
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">計画</th> <th style="text-align: center;">結果・成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>⑨3 体験交流型観光メニュー数： 63件（元年度）→39件（2年度）→63件（3年度）</p> </td> <td> <p>⑨3 体験交流型観光メニュー数：67件</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>⑨4 市内宿泊者数： 78万人（元年）→47万人（2年）→69万人（3年）</p> </td> <td> <p>⑨4 市内宿泊者数：53万人</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>⑨5 市内観光消費額：294億円（元年） →169億円（2年）→260億円（3年）</p> </td> <td> <p>⑨5 市内観光消費額：171億円</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>⑨6 市内コンベンション開催件数： 88件（元年度）→0件（2年度）→73件（3年度）</p> </td> <td> <p>⑨6 市内コンベンション開催件数：2件</p> </td> </tr> </tbody> </table>	計画	結果・成果	<p>⑨3 体験交流型観光メニュー数： 63件（元年度）→39件（2年度）→63件（3年度）</p>	<p>⑨3 体験交流型観光メニュー数：67件</p>	<p>⑨4 市内宿泊者数： 78万人（元年）→47万人（2年）→69万人（3年）</p>	<p>⑨4 市内宿泊者数：53万人</p>	<p>⑨5 市内観光消費額：294億円（元年） →169億円（2年）→260億円（3年）</p>	<p>⑨5 市内観光消費額：171億円</p>	<p>⑨6 市内コンベンション開催件数： 88件（元年度）→0件（2年度）→73件（3年度）</p>	<p>⑨6 市内コンベンション開催件数：2件</p>	
計画	結果・成果											
<p>⑨3 体験交流型観光メニュー数： 63件（元年度）→39件（2年度）→63件（3年度）</p>	<p>⑨3 体験交流型観光メニュー数：67件</p>											
<p>⑨4 市内宿泊者数： 78万人（元年）→47万人（2年）→69万人（3年）</p>	<p>⑨4 市内宿泊者数：53万人</p>											
<p>⑨5 市内観光消費額：294億円（元年） →169億円（2年）→260億円（3年）</p>	<p>⑨5 市内観光消費額：171億円</p>											
<p>⑨6 市内コンベンション開催件数： 88件（元年度）→0件（2年度）→73件（3年度）</p>	<p>⑨6 市内コンベンション開催件数：2件</p>											
成果・課題	<p>本県を含む全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、特に県外からの移動を伴う観光や会議の実施が制限され、「宿泊者数」、「観光消費額」及び「コンベンション開催件数」については、目標が達成できませんでした。</p> <p>来年度は、秋に開館する「県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館」のほか、「福井を舞台とする小説や映画」、「ふくい桜マラソン」など、新たな観光コンテンツも活かした誘客に取り組むとともに、ライトアップ等による夜間景観の創出や夜間イベントの開催などのナイトタイムエコノミーを推進し、観光消費の拡大を図ります。また、コンベンションの再開を見据えた誘致活動や、多様な観光メニューの提案等によるアフターコンベンションの促進に取り組みます。</p>											

13	「一乗谷」への観光誘客			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>戦国期の城下町跡がそのまま残る一乗谷朝倉氏遺跡の歴史的空間を活かした戦国宝探しや和傘スカイ、戦国体験プログラムなど、幅広い層をターゲットとした誘客イベントを実施するとともに、SNSを活用した魅力の拡散を行い、さらなる観光誘客につなげます。</p> <p>また、日本遺産の認定を受けた構成文化財として、石づくりの戦国城下町の歴史を伝え、その魅力を発信します。</p> <p>さらに、本市も参画している福井・永平寺周遊滞在型観光推進委員会や JR 越美北線観光利用促進協議会等を通じて、周辺エリアと連携した誘客事業を企画・展開していきます。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝倉氏遺跡・無料定時ガイド（4～11月、3月）参加者 2,575人</li> <li>○朝倉永平寺特急バス運行（4～3月）※3月末で運行終了</li> <li>○福井永平寺周遊ガイドブック付きクーポン販売（4月～）</li> <li>○あさくら系桜まつり（4月）</li> <li>○一乗谷DISCOVERY PROJECT新メンバー委嘱（7月 榎木孝明氏、赤神諒氏）</li> <li>○朝倉氏遺跡・戦国宝探しゲーム（7～10月）参加者 2,991人</li> <li>○復原町並のSNS映えスポット「和傘スカイ」（7～11月）</li> <li>○越前朝倉万灯夜・オンライン配信（8月）※越前朝倉戦国まつりは中止</li> <li>○越前美濃街道ドライブスタンプラリー（8～10月）参加者 522人</li> <li>○一乗滝小次郎の里ファミリーパーク体験イベント（10月）参加者 親子 10組 34人</li> <li>○「一乗谷駅」御乗印発行（10月1日～）発行枚数 約 160枚</li> <li>○一乗谷朝倉氏遺跡オンラインツアー <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月23日 申込者 68人、視聴者 116人</li> <li>・3月19日 申込者 160人 視聴者 500人</li> </ul> </li> <li>○戦国城下町生活再現（25回）来場者 13,344人</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<del>総90</del> <del>戦</del> 一乗谷観光客入込数：106万人（元年） →85万人（2年）→101万人（3年）			<del>総90</del> <del>戦</del> 一乗谷観光客入込数：57万人		
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光行動が制限され、また、戦国まつりなど誘客イベント中止の影響もあって、観光客入込数が減少し、目標が達成できませんでした。</p> <p>来年度は、秋に開館する「県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館」と連携し、VR等を活用した遺跡案内や体験プログラムなど、観光地としての魅力の向上に取り組みます。</p> <p>さらに、永平寺町や大野市、県等とともに、周辺地域の観光資源を活かした周遊観光プランを提供するなど、広域連携による観光誘客を促進します。</p>				



14	「まちなか」への観光誘客		達成度	
<b>実行内容</b>				
行動目標	<p>JR福井駅周辺で開催されるイベントやコンベンションを活かすとともに、デジタルアートやライトアップの実施により夜間の賑わいを創出することで、まちなかへの観光誘客を図ります。</p> <p>また、市観光協会と連携し、観光おもてなしガイドによる「まち歩き」や、お得な飲食チケットによる「食べ歩き」プランを提供し、まちなかでの回遊を促進します。</p>			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふくい桜まつり (3/27~4/11) 入込数 247,000 人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトアップ (足羽川桜並木、福井城址、県庁線、愛宕坂灯の回廊 ほか)</li> <li>・お買い物スタンプラリー 参加者延べ 117 人</li> <li>・ふくい桜パーク (福井市中央公園) (4/3、4)</li> <li>・2.43! さくら花時お散歩クイズラリー (3/20~5/5) 参加者延べ 629 人</li> <li>・桜カード配布 (3/20~5/5) 配布 5,470 枚</li> </ul> </li> <li>○ハピテラス、中央公園デジタルアート投影 (4月~) <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント連携: アイススケート (12/24~2/6)、Digital Night Electrical Stage (3/20)</li> </ul> </li> <li>○観光チケット販売・観光ツアー催行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幸 FULL TICKET」(まちなか、ナイト) 販売 (4~3月)</li> <li>・「幸 FULL TOURS」 (11~12月 12回)</li> </ul> </li> <li>○写真映えメニュー「粋福 (ふくいっぶく)」 第1弾 (6/1~)、第2弾 (10/1~) <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプラリー (12/14~2/23) 応募者 169 人</li> </ul> </li> <li>○観光おもてなしガイド案内 (10~3月) 利用者 229 人</li> <li>○オンラインツアー <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本龍馬ゆかりの地 (11/14) 申込者 34 人 視聴者 225 人</li> <li>・ライトノベル「千歳くんはラムネ瓶のなか」聖地巡礼 (3/21) 申込者 280 人 視聴者 500 人</li> </ul> </li> <li>○夜間観光促進事業「福いいネ! ナイトキャンペーン」 (12~2月)</li> <li>○恐竜ホテル改修支援 (2件)</li> </ul>		
<b>指 標</b>				
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>		
 91  まちなか観光客入込数：193 万人 (元年) →101 万人 (2年) →174 万人 (3年)		 91  まちなか観光客入込数：133 万人		
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光行動が制限され、また、フェニックスまつりなど誘客イベント中止の影響もあって、観光客入込数が減少し、目標が達成できませんでした。</p> <p>来年度は、北陸新幹線福井開業も見据え「ふくい桜まつり」や「夜間イベント」等のさらなる充実を図るとともに、福井を舞台とする小説「千歳くんはラムネ瓶のなか」とのタイアップによる観光PRや聖地巡礼企画、まちなかに整備する恐竜スポットや、客室や共用スペースを恐竜仕様に改築した恐竜ホテルのPRなど、新たなコンテンツも活かした観光誘客の拡大を図ります。</p>			

15	「越前海岸」への観光誘客			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>アウトドアや体験・交流などの観光ニーズが高まる中、越前海岸の豊かな自然や食といった魅力ある素材を活かした体験交流型観光メニューの発掘や磨き上げに取り組みます。</p> <p>また、重要文化的景観に選定された「水仙畑」や冬の味覚の王者「越前ガニ」に関して、隣接する自治体とも連携した観光宣伝や誘客イベントを展開し、さらなる観光誘客につなげます。</p>				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○越前海岸観光協会連合会・浜の活井スタンプラリー（4～3月）</li> <li>○越前海岸盛り上げ隊・体験メニュー「海の探検博覧会」（4～3月）</li> <li>○越前海岸海水浴ポスター・リーフレット配布（6月）</li> <li>○写真映えメニュー「粋福（ふくいっぷく）」 第1弾（6月～）、第2弾（10月～） ・スタンプラリー（12/14～2/23）応募者169人</li> <li>○農林高校生徒・水仙植え付け、刈り取り体験（6～12月）参加者35人</li> <li>○海水浴場イベント（7～8月）ハマグリ散布3回</li> <li>○越廼中学校連携・越前水仙PR ・ハピテラスにおけるPR（11月）</li> <li>○越前がに・越前水仙出向宣伝（東京・富山・京都・熊本）（11月）</li> <li>○ポータルサイト「福いろ」越前がに特集記事掲載</li> <li>○越前水仙の里公園体験イベント（12回）</li> </ul> <p>※こしの水仙まつりは新型コロナウイルス感染症の影響で中止</p>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<p>◎92 越前海岸観光客入込数： 39万人（元年）→29万人（2年）→39万人（3年）</p>			<p>◎92 越前海岸観光客入込数：27万人</p>		
成果・課題	<p>水仙まつりなど大きな誘客イベントが中止になったことに加え、越前がにシーズンの新型コロナ・オミクロン株による感染急拡大の影響もあって、観光客入込数が減少し、目標が達成できませんでした。</p> <p>来年度も引き続き、越前町や南越前町、地域の観光まちづくり組織と連携して、越前海岸の「自然」や「食」を活かした体験・交流型観光を促進するほか、テレワーク拠点として整備された「越廼サテライトオフィス」と連携して、新たな働き方のスタイルとして注目されている「ワーケーション」などの誘致及びそれに伴う観光需要の創出を図ります。</p> <p>また、本市と協定を締結している共立女子大学の学生と連携し、今後の越前海岸の観光振興策について検討、提案いただくなど、若い世代の観光誘客の取組に活かしていきます。</p>				




## VI. (II) 福井の魅力を磨き、市民や観光客が福井の魅力にふれる機会を増やします

16	おもてなしの心の醸成		達成度	
<b>実 行 内 容</b>				
行動目標	<p>福井を訪れる観光客を温かく迎え入れ、再び訪れたいと思っていただけるよう、「観光おもてなし市民運動」に取り組み、市民のおもてなしの気運を醸成します。</p> <p>また、観光に関する知識やお客様への対応力を備え、第一線で活躍する人材をさらに掘り起し、「観光おもてなしマイスター」として他の模範となって活躍してもらうことで、地域全体のおもてなし力の向上につなげます。</p>			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おもてなし体験だより募集 (4~2月)</li> <li>○観光おもてなし市民運動推進会議 (5月、3月)</li> <li>○チアダン「おもてなし」ワークショップ(6月)参加者18人</li> <li>○観光立国タウンミーティング (6月)参加者500人(うちオンライン300人)</li> <li>○観光おもてなしガイドセミナー (7月)参加者23人</li> <li>○観光おもてなしオンライン講習会 (11~2月)参加者33人</li> <li>○観光おもてなしマイスター実践力向上研修及び認定 (12~1月)認定者12人</li> <li>○観光おもてなしスーパーマイスター研修及び認定 (12月)認定者3人</li> <li>○観光おもてなし大賞決定 (3月)</li> </ul> <p>※観光おもてなし市民運動推進大会は、新型コロナウイルスの影響で中止。(大賞受賞者については、R4年度に公表予定)</p>			
<b>指 標</b>				
<b>計 画</b>		<b>結 果・成 果</b>		
<p>◎98◎福井市を訪れて良かったと感じた人の割合 : 94.4% (元年度) → 91.2% (2年度) → 95.0% (3年度)</p>		<p>◎98◎福井市を訪れて良かったと感じた人の割合 : 96.0%</p>		
成果・課題	<p>北陸新幹線福井開業に向けた取組として、6月には「観光立国タウンミーティング」を開催し、地域が一体となった観光地づくりに対する機運を高めたほか、新たに「チアダン・おもてなしワークショップ」を開催し、おもてなしにつながる笑顔の大切さや笑顔のコツを学ぶことができました。</p> <p>また、おもてなし講習会や観光おもてなし大賞表彰等による「観光おもてなし市民運動」を推進し、市民や事業者のおもてなしの機運の醸成を図ってきました。本年度に「観光おもてなし体験だより」で寄せられたご意見では、福井市を訪れて良かったと感じた人の割合が96.0%となり、目標値を超えました。</p> <p>今後さらに、県の「おもてなし宣言291」や、県観光連盟の「おもてなしセミナー」とも連携し、様々な機会を通じたおもてなし力の向上を図り、オール福井での「おもてなし」の実現につなげます。</p>			




Ⅶ. (Ⅲ) 様々なツールによる情報発信を行い、福井の知名度やイメージの向上に努めます

17	観光情報の発信		
<b>実行内容</b>			
行動目標	<p>北陸新幹線福井開業に向け、新たに運用を開始した「ふくい嶺北連携中枢都市圏ポータルサイト」を活用し、圏域内の幅広い観光情報を発信していきます。</p> <p>前年度創作した写真映えする福井の食「粹福（ふくいっぶく）」について、イベントやSNS等を通して全国に発信し、認知度を高めます。また、市民や観光客が福井の魅力をSNSに投稿する「フォトコンテスト」を実施し、本市のイメージアップや訪問意欲の向上につなげます。</p> <p>さらに、姉妹・友好都市である熊本市、結城市の市民を対象にしたオンラインツアーを実施するなど、感染症収束後の旅行機運の醸成を図ります。</p>		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広域観光ポータルサイト「福いろ」開設（4月1日）</li> <li>○観光PR動画ウェブ配信             <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井で桜を見る会2021（5月～）</li> <li>・歴史あふれる福井旅【一乗谷朝倉氏遺跡】（3月～）</li> </ul> </li> <li>○Instagram・福いいネ！フォトコンテスト（7～9月）投稿件数約7,000件</li> <li>○写真映えメニュー「粹福（ふくいっぶく）」情報発信             <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行誌掲載（10月）</li> <li>・在京メディア向け発表会（12月）</li> </ul> </li> <li>○観光出向宣伝（東京、富山、京都、熊本）（11月）</li> <li>○オンラインツアー開催（4回）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一乗谷朝倉氏遺跡（11/23）申込者68人 視聴者116人 （3/19）申込者160人 視聴者500人</li> <li>・坂本龍馬ゆかりの地（11/14）申込者34人 視聴者225人</li> <li>・ライトノベル「千歳くんはラムネ瓶のなか」聖地巡礼（3/21）申込者280人 視聴者500人</li> </ul> </li> <li>○北陸新幹線沿線主要駅でのポスター等掲出（1～3月）（上野、大宮、長野）</li> <li>○旅行会社や出版社への営業活動（7月：東京）、観光商談会（オンライン観光商談会6回）</li> <li>○SNSによる情報発信             <ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram「福いいネ！くん」フォロワー 5,245人</li> <li>・Facebook「いごこち満点！ふくい」フォロワー 1,751人</li> <li>・YouTube「福井市観光」登録者 446人</li> </ul> </li> <li>○フィルムコミッションによるロケ地等情報提供 問い合わせ27件、撮影実績6件</li> </ul>		
<b>指</b>		<b>標</b>	
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>	
インスタグラム等SNSのフォロワー数： 4,177 フォロワー（2年度） →6,000 フォロワー（3年度）		インスタグラム等SNSのフォロワー数： 7,442 フォロワー	
成果・課題	<p>北陸新幹線福井開業に向けた情報発信の強化や、コロナ禍におけるマイクロツーリズムの促進を目的に、SNS映えする食やスポットを創出するとともに、それらのスポットをSNSに投稿するフォトコンテストを実施しました。コンテストには、多くの投稿が寄せられ、SNSを通じた本市の魅力発信や、本市の観光SNSのフォロワー増加につながりました。</p> <p>来年度は、SNSを活かした情報発信のほか、対象の年齢や興味などターゲットを絞ることのできるウェブ広告を活用した効果的な宣伝広告を行い、魅力の発信や認知度の向上につなげます。</p>		






Ⅷ. (Ⅳ) 外国人を含む誰もが住みたくなる多様性のある豊かなまちを目指すとともに、海外からも訪れたい福井を目指します




18	国際交流の活用と多文化共生のまちづくり			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>海外姉妹友好都市交流では、姉妹都市から招聘している国際文化交流大使（FCA）による地域活動を通じて、市民の国際理解を促進します。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症により休止しているジュニア大使など交流事業の再開について、関係都市と協議していきます。</p> <p>グローバルフェスタなど市民が異国文化を知る機会や、オンライン等により外国人と交流する機会を提供するほか、外国人とのコミュニケーションを支援する通訳ボランティアを育成し、多文化共生のまちづくりを推進します。</p>				
取組内容	<p>海外姉妹友好都市交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水原市小中学生オンライン作品交流（8月～）</li> <li>○水原市オンライン交流（12回 参加者延べ173人）</li> <li>○福井市国際文化交流大使（FCA）・地域等派遣（87回）</li> <li>○杭州市友好都市提携30周年記念・オンライン交流（11月）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高校生文化交流（11/22）参加者約120人</li> <li>・「福井の食」料理体験（11/20）動画視聴者約34万人</li> </ul> </li> </ul> <p>多文化共生推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○異文化理解促進事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生ワールドツアー（7/29）27人、（10/10）34人</li> <li>・異文化理解地域交流（2回）計56人</li> <li>・ワールドクッキング（12/3）11人、（12/13）10人、（2/17）6人（オンライン）</li> <li>・外国人市民日本文化体験（浴衣で養浩館ウォーク）38人、（和菓子作り）14人</li> </ul> </li> <li>○多文化共生市職員研修（8/11）52人</li> <li>○通訳ボランティア育成動画配信（vol.6 8月～、vol.7・8 12月～、vol.9 3月～）</li> <li>○日本語支援事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒サポート（351回）</li> <li>・交流型日本語教室「しゃべり場」（19回）延べ204人</li> </ul> </li> <li>○オンライングローバルフェスタ（10/31）動画視聴者123人</li> <li>○通訳ボランティア育成・歴史文化通訳研修（3回）延べ42人</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
<p>④ 市及びふくい市民国際交流協会が実施する国際交流事業等への市民の参加者数： 6,350人（元年度）→852人（2年度） →4,300人（3年度）</p> <p>⑤ 35 通訳ボランティア育成事業の参加者数： 182人（元年度）→ - 人（2年度）→30人（3年度） 通訳ボランティア育成動画視聴者数： 延べ250人（3年度）</p>			<p>④ 市及びふくい市民国際交流協会が実施する国際交流事業等への市民の参加者数：1,912人</p> <p>⑤ 35 通訳ボランティア育成事業の参加者数：42人 通訳ボランティア育成動画視聴者数：延べ278人</p>		
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により例年多くの市民が参加するグローバルフェスタをオンラインで実施したが、国際交流事業等への市民の参加者数について目標を達成できませんでした。事後配信もするなど、できるだけ多くの市民が参加できるよう工夫しました。また、渡航を伴う海外姉妹友好都市交流についてはほとんどが中止となりましたが、令和元年度から延期となっていた杭州市との友好都市提携30周年記念事業については、オンラインに変更することで実現しました。</p> <p>来年度も渡航が再開されるか引き続き不透明な状況ですが、事業の実施方法を工夫する中で、市民の参加を促進し、国際化や多文化共生社会を推進します。</p>				




IX. (V) 文化芸術活動を支援するとともに、文化や歴史、自然を観光誘客に活用します




19	文化芸術活動の活性化			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>市民が文化的な環境の中で、心豊かにゆとりある暮らしを送れるよう、芸術鑑賞や体験事業の充実を図るとともに、福井市文化協会が主催する福井市民文化祭や各種文化団体の活動を支援し、市民の誇りとなる文化芸術を振興します。</p> <p>また、文化会館の閉館やコロナ禍の状況を踏まえ、新たな文化芸術活動の場として、バーチャル文化芸術祭を開催し、文化芸術活動の活性化を図ります。</p>				
	取組内容	<p>○ふくいバーチャル文化芸術祭          作品募集 7/1～8/31（参加者数 92人）          作品公開 9/1～9/30（参加者数※ 6,320人） ※イベントページの閲覧件数          関連イベント          ・動画作成オンラインセミナー（7/14開催、公開は8/31まで）              参加者数 88人（当日閲覧23人、期間中閲覧65人）          ・津軽三味線×eスポーツ配信イベント（9/12開催、公開は9/30まで）              参加者数 54人（当日閲覧25人、期間中閲覧29人）          表彰式（11/15 市長賞：1作品、優秀賞：2作品、審査員特別賞：6作品）          入賞者の作品等をハピテラスの大型ビジョン放映するほか、市役所市民ホール、市美術館、アオッサでも放映及びパネル展示を行った。</p> <p>○市民文化祭          展示部門（11/3,4開催、参加者数：1,836人）、 芸能大会（11/7開催、参加者数：861人）</p> <p>○文化奨励賞授与式（11/3 受賞者：2人）</p> <p>○文化芸術活動の支援          ・おうちでさわやかコンサート（童謡の日さわやかコンサートの代替企画）              参加6団体、 公開期間 8/20～R4.3/31 観覧件数：2,272件          ・日本伝統芸能鑑賞（能楽）の支援              4/25開催、 会場 ハピリン能楽堂、 鑑賞者数 120人</p>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<p>総99 市民文化祭参加者数：5,216人（元年度）          →2,706人（2年度）→5,300人（3年度）          バーチャル文化芸術祭参加者数：2,000人</p>			<p>総99 市民文化祭参加者数：2,697人          バーチャル文化芸術祭参加者数：6,554人</p>		
成果・課題	<p>市民文化祭は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、内容・規模を縮小して開催したことにより、目標を達成することができませんでした。</p> <p>一方、「ふくいバーチャル文化芸術祭」は、想定以上の応募、閲覧があり、ウェブ上での活動が文化芸術活動の場としてより身近に認知されているということがわかりました。</p> <p>来年度は、ウェブを活用した文化芸術活動をさらに活発化させるため、「ふくいバーチャル文化芸術祭」に併せて、動画作成講座を開催し、作品の質の向上を図るとともに、より多くの市民が文化活動に参加する機会を創出します。</p>				

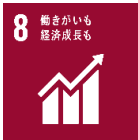




20	文化施設の魅力向上と情報発信			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>一乗谷朝倉氏遺跡では、遺跡の適切な保存管理に加え、無料Wi-Fiの整備やAR・VR等を用いた案内ツールの導入に取り組むとともに、指定管理者と協力し体験メニュー等の充実を図ります。</p> <p>養浩館庭園では、御茶屋建物の屋根葺き替え工事を行うとともに、地元住民等と協働し、御茶席やライトアップなどを実施します。</p> <p>愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館及びグリフィス記念館では、特別展や企画展を開催し、入館者の増加に取り組みます。</p> <p>また、SNS等を活用し、文化施設の最新情報を広く発信します。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一乗谷朝倉氏遺跡復原町並（入場者数：82,376人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別史跡指定50周年・特別名勝指定30周年記念パネル展示 7箇所（7/30～R4.3/31）</li> <li>・復原町並武家屋敷主殿屋根等改修（R4.3月）</li> <li>・無料Wi-Fi環境整備、AR・VR等案内ツール映像部門制作（R4.3月）</li> </ul> </li> <li>○養浩館庭園（入園者数：33,102人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋のライトアップ（10/1～11/7の金土日祝、祝前日の20日間）</li> <li>・庭カフェ（11/6～14）</li> <li>・御茶屋建物屋根葺き替え工事（11月～3月）</li> </ul> </li> <li>○愛宕坂茶道美術館（入館者数：5,027人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「茶人のお言葉」（2/27～5/12）、「侘びたり寂びたり」（5/16～8/29）、 「漆の茶道具」（9/6～11/30）</li> <li>・企画展「つくろいの美」（12/3～R4.3/1）</li> <li>・特別展「眼福 美麗なる中国陶磁～京都国立博物館松井コレクションより～」（R4.3/1～5/15）</li> </ul> </li> <li>○橘曙覧記念文学館（入館者数：5,061人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「お殿様のたのしみは」（3/13～5/5）、「江戸時代の食事情」（5/9～8/29、9/6～11/17）</li> <li>・令和独楽吟（作品募集：9/1～11/30、表彰式：中止 入賞作品パネル展 3/8～12 アオッサ）</li> <li>・企画展「曙覧の書をたのしむ」（11/20～R4.3/8）、「作家たちの休日」（R4.3/12～5/10）</li> </ul> </li> <li>○グリフィス記念館（入館者数：8,481人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「廃藩置県150年」（8/1～31）</li> <li>・グリフィス記念館でハロウインの写真を撮ろう（10/1～31）</li> <li>・福井でみるサンタの夢2021（12/1～25 日下部・グリフィス基金連携事業）</li> <li>・企画展「W.E.グリフィスと渋沢栄一」（2/26～3/21）</li> </ul> </li> <li>○SNSによる情報発信（発信数：1,077件）</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
 102 文化施設入場者：84,180人（元年度） →45,949人（2年度）→82,300人（3年度）			 102 文化施設入場者 ：51,671人		
成果・課題	<p>文化施設入場者数は、昨年度より増加したものの、新型コロナウイルスの影響に伴う観光客の減少などから、目標には届きませんでした。その中でも、グリフィス記念館では、日下部・グリフィス基金、福井大学の学生、西武福井店、日本旅行などと連携し、スタンプラリーやクリスマスケーキの制作販売等を行ったことで、12月の入場者数は、過去最多となりました。</p> <p>来年度は、落ち込む入場者数の回復という課題に対し、養浩館庭園では、新たにアート作品の展示を行い、冬季（閑散期）の集客を目指します。また、歴史のみえるまちづくり協会等と連携し、施設間の回遊性を高める事業を実施することで、各施設への入場者増を図ります。</p>				

21	美術館企画展等の開催			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>幅広い年代層が芸術に親しめるよう、女性をモチーフとした近代絵画のほか、影絵やキャラクター原画など、多彩な作品を紹介する企画展を開催します。企画展では、解説会や制作体験などを開催して楽しめるようにするとともに、文化施設等と連携しながら広域的に情報発信を図り、観光誘客に努めます。</p> <p>また、自然や生活と関連した創造性を養い刺激するようなプログラムで、子どもから高齢者までが楽しめる創作の機会を提供します。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「描かれた女たち展」の開催（6月～7月：32日間） <span style="float: right;">2,326人</span>        〈関連イベントの実施〉・作品解説会：3回開催            ・アトリエチャレンジ：「ステンシルでコースターをつくろう」</li> <li>○ 「藤城清治 光の世界メルヘン展」の開催（7月～9月：50日間） <span style="float: right;">27,311人</span>        〈関連イベントの実施〉・藤城絵本の朗読会：2回開催、・藤城清治サイン会：4回開催            ・アトリエチャレンジ：「童話の世界に色をつけよう」</li> <li>○ 「誕生65周年記念 ミッフィー展」の開催（9月～11月：44日間） <span style="float: right;">43,901人</span>        〈関連イベントの実施〉・アトリエチャレンジ：「動く絵づくり（ソーマトロップ）」</li> <li>○ 「日本人の夢・あこがれ 明治から昭和のポスター展」の開催（令和4年2月～3月：31日間） <span style="float: right;">4,420人</span>        〈関連イベントの実施〉・作品解説会：3回開催            ・アトリエチャレンジ：「カラー版画制作体験」「ポスター作品のぬり絵」</li> <li>○ 子どもアトリエ、市民アトリエ：各9講座開催</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
総100 企画展入場者数：81,659人（元年度） →47,447人（2年度）→82,000人（3年度）			総100 企画展入場者数：77,958人		
成果・課題	<p>今年度の企画展は、総じてわかりやすく親しみやすい内容で、関連イベントや撮影コーナーも大変人気となり、20代から70代以上の幅広い年代に支持されました。特に秋の「ミッフィー展」では、館外まで入場制限の列ができるなど大変好調でした。</p> <p>しかし、コロナの影響を受けて、前期は8月中旬まで、後期は年明けから年度末まで入場者数が伸び悩んだ結果、目標を達成することはできませんでした。</p> <p>来年度の企画展では、今年度同様、幅広い世代から支持されるよう現代美術や写真、貼り絵、ペン画、浮世絵など、多彩な作品を展示紹介します。また、作品をより身近に感じられるよう関連イベントを工夫するとともに、文化施設等と連携を取りながら広域的な情報発信を行い、県内外からの誘客に努めます。</p>				

22	郷土歴史博物館企画展等の開催	 4 質の高い教育を みんなに	 11 住み続けられる まちづくりを	達成度 
<b>実行内容</b>				
行動目標	<p>幕末に活躍した坂本龍馬や明治初期に福井藩が招いた外国人化学教師グリフィスといった福井にゆかりのある人物とその活動を紹介する企画展や、福井藩主家にもともと伝来していた『平家物語絵巻』のお国帰り展示をすることで、福井の文化の豊かさや先見性について全国に発信していきます。また、坂本龍馬を介した高知市との連携やコロナ禍を契機に始めた動画配信などにより、博物館や郷土の魅力を広く伝えられるよう取り組んでいきます。</p>			
取組内容	<p>○春季特別展「グリフィスが見た明治の福井～The Mikado's Empire～」          (3/20～5/5 2,745人(うち、R3年度分2,043人))</p> <p>○夏季特別展「龍馬と福井」          (7/21～8/26 7,028人)</p> <p>○秋季特別展「帰ってきた平家物語絵巻」(10/9～11/23 7,009人)</p> <p>○動画配信 春季特別展「グリフィスが見た明治の福井～The Mikado's Empire～」5/24 配信          松平家史料展示室企画展「福井藩の医療～家業、医学所、種痘～」R4.2/24 配信</p>			
<b>指 標</b>				
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>		
① 101 企画展の入場者数：26,002人(元年度) →18,183人(2年度) →26,200人(3年度)		① 101 企画展の入場者数：16,080人		
成果・課題	<p>企画展の入場者数は、目標を達成することはできませんでした。</p> <p>今年度は例年と異なり年度末開始の企画展を見送り、夏季に規模の大きな特別展を開催したことで、この時期は前年を上回る入場者数となりましたが、通年では、前年度実績にとどきませんでした。</p> <p>秋季特別展は、福井の小学生が、平家物語の冒頭の「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」の暗唱を授業で行うなど幅広い世代に大変なじみ深いテーマで、ワークショップ等には親子での参加が多くみられました。一方、夜間の養浩館での琵琶演奏会など参加者には好評を得ましたが、コロナ禍ということもあり参加人数を制限せざるをえませんでした。また、観覧者が自ら絵巻のデジタル画像を自由に拡大して見ることのできる参加型のコーナーは好評でした。</p> <p>次年度は、館蔵品やまちなかに残る一乗谷の痕跡といった郷土の魅力の再発見とともに、友好都市締結提携 20周年を迎える結城市との歴史的つながりや越前松平家の宮中や他の大名家との関係を活かした展示を通じて、福井と全国の繋がりをアピールします。</p> <p>また、春季特別陳列では学芸員がノミネートした博物館の宝から最優秀賞を決める観覧者参加型の展示としたり、ふくい桜まつりでの告知やイベントへの協力、各地に残る一乗谷の痕跡を実際にたどれるような情報の発信など、より博物館に興味を持ってもらえるよう取り組んでいきます。</p>			

23	<b>自然史博物館企画展等の開催と セーレンプラネットの運営</b>			<b>達成度</b>	
<b>実 行 内 容</b>					
<b>行動目標</b>	<p>自然史博物館では、足羽山を訪れる市民や観光客に、周遊しながら楽しんでもらえるよう足羽山の魅力を発信するとともに、魅力ある企画展を開催します。</p> <p>セーレンプラネットでは、特別展やドームシアターでの魅力ある番組の放映、ハピリンや周辺施設、交通事業者等とイベント等での連携を行うとともに、テレビ、新聞、雑誌、ウェブ、SNS等様々なメディアを利用して集客に努めます。</p> <p>両館は、県内唯一の自然科学の総合博物館として、郷土の豊かな自然や天文について興味深く学べる機会を提供し、子どもたちをはじめ市民に自然科学への関心を高めてもらえる取組を推進します。</p>				
<b>取組内容</b>	<p>○本館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「足羽三山トリペディア」(3/20～5/30) ※足羽三山の約100種の鳥の剥製を展示</li> <li>・企画展「カブクワ大行進！」(7/17～10/24) ※86日間で17,216人(1日平均200人)</li> <li>・冬の足羽山散策を楽しむ「足羽山おさんぽビンゴ」(R4.2/1～16) ※足羽山公園事務所と共催</li> </ul> <p>○分館(セーレンプラネット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーレン株式会社入社式(4/1) ※報道各社が取材、全国ネットでも紹介</li> <li>・eスポーツの体験やARスポーツのパブリックビューイング(4/17,18) ※ハピリン5周年祭</li> <li>・企画展「県民衛星すいせん 宇宙へ！」(4/21～5/10) ※「すいせん」の初観測画像の解説や講演</li> <li>・全国都道府県対抗eスポーツ選手権2021の福井県代表決定戦(6/27)</li> <li>・特別展「しかく錯覚ふしぎ展」(7/22～8/23) ※33日間で6,785人(1日平均200人)</li> <li>・オリンピック東京大会臨場感LIVEビューイング(7/31、8/1,2,7)</li> <li>・「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる」(7～12月) ※92回の放映で2,597人</li> <li>・ベビープラネタリウム(9/23・1/15・3/26) ※毎回10分でチケット完売。新規利用者層を発掘</li> <li>・企画展「宇宙から地球を見てみよう展」(12/4～1/10) ※JAXAと連携した人工衛星展</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<b>成果・課題</b>	<p>① 104 自然史博物館入場者数：22,659人(元年度) →13,884人(2年度)→27,000人(3年度)</p> <p>② 104 セーレンプラネット施設利用者数： 37,686人(元年度)→22,931人(2年度) →50,000人(3年度)(展示室とドームシアターの利用者数)</p> <p>③ 産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数： 19人(元年度)→0人(2年度)→125人(3年度)</p>		<p>① 104 自然史博物館入場者数： 29,346人</p> <p>② 104 セーレンプラネット施設利用者数： 61,833人 (展示室とドームシアターの利用者数)</p> <p>③ 産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数： 449人</p>		
<b>成果・課題</b>	<p>コロナ禍で県またぎの移動が制限されるなど、両館とも県外利用者数が伸び悩む中、市民や県民の自然科学への興味や関心を高める事業を積極的に展開しました。</p> <p>本館では、子どもたちに大人気のカブトムシ・クワガタムシ展や、足羽三山の野鳥展によって、魅力ある福井の自然を発信しました。合わせて、市内で捕獲した王冠カブトムシや双頭トカゲの生体展示ができたこともあり、年間入場者は昨年度の2倍、過去9年間で最多入場者数となりました。</p> <p>また、分館では子どもたちの宇宙への夢をはぐくむドーム番組の放映はもとより、eスポーツ大会や東京オリンピックのライブビューイング、幼児連れ向けのベビープラネタリウムなどの新しい企画も好評を得ました。更に産学連携科学技術キャリア教育では、JAXAや福井県民衛星プロジェクト、福井工業大学と連携して、人工衛星に関する展示や講演会を開催し、最先端技術を紹介しました。</p> <p>これらの取組により、目標を達成することができました。</p> <p>来年度は施設単体ではなく、本館は足羽山の飲食店や動物園等と、分館は駅前の飲食店や映画館、ホテル等を巻き込みながら周遊機能を持たせた事業を展開し、更なる利用者増に努めます。</p>				

24	<b>観光と文化の連携強化</b>			<b>達成度</b>	
<b>実行内容</b>					
<b>行動目標</b>	ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の市町等と連携し、一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園などの日本遺産に関するシンポジウムや、地域の特色ある歴史や文化財等についての合同出張ミュージアムの開催などにより、広く魅力を発信し観光誘客や交流人口の増加につなげます。				
<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本遺産の活用推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定ガイドの養成講座（応用編：10/26、11/4、9、基礎編：2/22, 24）</li> <li>・ワークショップ(土産等の商品開発)の開催（10/7, 21, 11/4, 12/9, 1/20, 2/3）</li> <li>・日本遺産フェスティバルの開催（11/27, 28、会場：ハピリン他（福井市、勝山市） 臨時観光案内所の設置、周遊ツアー、体験講座等</li> <li>・調査研究講演会（R4.2/20）</li> <li>・日本遺産シンポジウム（R4.3/12）</li> </ul> </li> <li>○ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同出張ミュージアムの開催（8/5～2/15、会場：郷土歴史博物館(8/5～8/18) 他 10 施設、 テーマに沿ったパネル展示を実施）</li> <li>・文化芸術イベントチラシの発行（発行月：R3.8月、掲載イベントの期間：R3.8月～R4.3月）、 （発行月：R4.3月、掲載イベントの期間：R4.4月～9月）</li> <li>・文化資源パンフレットの発行（3月、テーマ：近代化遺産）</li> </ul> </li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
日本遺産シンポジウム開催：1回 合同出張ミュージアム開催：1回			日本遺産シンポジウム開催：1回 合同出張ミュージアム開催：11回 （連携11市町にて開催）		
<b>成果・課題</b>	<p>日本遺産については、調査研究講演会やシンポジウムを、オンライン方式を併用し開催することで、多くの方に参加いただくことができました。また、今年度初めて開催した日本遺産フェスティバルでは、認定ガイド付き「石めぐりツアー」が好評で、丹巖洞コースには2日間で147人ももの参加がありました。</p> <p>また、ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業については、新型コロナウイルスの影響で減少した文化施設の入館者数を増加させるため、一か所で開催予定だった合同出張ミュージアム※を、全市町巡回のパネル展に変更しました。また、近代化遺産を紹介するパンフレットを作成し、嶺北を周遊する一つのきっかけを提供しました。</p> <p>来年度は、北陸新幹線福井開業に向けて、歴史文化資源の観光活用の強化が課題となります。この課題に対し、「石がたり」認定ガイド等を活用した日本遺産の魅力発信やふくい嶺北連携中枢都市圏域内の新たな文化資源の発掘・紹介に取り組み、観光誘客や交流人口の増加を目指します。</p> <p>また、令和2年度から参加している東日本連携・創生フォーラムにおいて、「庭園」「城」をテーマに周遊を促す連携事業を企画提案し、実施に向けて協議を進めます。</p> <p>※合同出張ミュージアム：ふくい嶺北連携中枢都市圏の11市町が、テーマに沿った各市町の文化資源等を持ち寄り博物館で展示・紹介します。</p>				

